

# 一心太助の天秤棒

## ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～



越谷市会議員 白川 ひでつぐ  
シリーズ/NO 114



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

### 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来19年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3900日を超え5期目残り半年余りとなりました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は119名を超えました。これでスマートフォンでのライブ配信をすることが出来ます。登録のご協力に感謝し、更にご登録を引き続きお願いします

チャンネル登録



### 高校受験があるのは日本だけ？！

今日は、午前10時から午後5時まで「登校拒否・不登校を考える夏の全国大会」にオンラインで参加した。

冒頭、記念講演として「大丈夫よ！不登校～多様な学び・生き方に向かって～」をテーマに尾木直樹・教育評論家が1時間話された。

その中で、日本では誰もが常識と受け止めている幾つかの課題について、国際的な比較で指摘された。

第1に学年主義について、日本では進級して行くことは当然として、1年生が2年生へ、2年生が3年生へと階段を登るように進級して行くが、こんな国は日本だけ。諸外国では、進級ではなく、“留年”が常識でそれぞれの子どもの発達段階を判断して留年をすると言う事。第2に一斉主義について、授業で先生が生徒に対して

授業の最初に教科書の〇〇ページを開いて下さい、と号令をかけて一斉に授業が開始される。

しかしこれも日本だけで、この典型例が全国一斉テストの実施であり、学力を数字で評価する画一的なもので、日本独特のやり方だ。

第3に高校受験があるのも日本だけの制度。良く韓国の受験競争が報道されているが、韓国は中高一貫教育制度であり、苛烈になっているのは大学受験の状況との事。そのため留年との関係でもあるが日本では大学受験の平均年齢は18, 3歳、しかし欧米では22, 3歳となっており、その差は4歳にもなっている。第4に得点主義について、日本では全ての評価は学力の点数が重視され、更に内申書が付加されている。これも日本だけの制度だと。良くIQの数字が評価の指標とされているが、IQとは早く答えを出すことが出来る能力の数値を示すものだが、国際的には今IQではなく、HQの評価が主流となっている。

このHQとは情念の豊かな人、創造的な個性の豊かな人つまり人間性の指標となっている。それを育てていく教育が、「STEAM」(サイエンス・技術・工学・ものづくり・芸術、リベラルアーツ・数学)。特にAのアート・芸術が重要であり、これはどんなにAIが発達しても、人の心を機械では作り出すことが出来ないものであり、この心を最も重視する教育に変えて行く必要性を強調された。(8月21日・日曜日)

### 30台のサラリーマンが3000円のカンパ

今朝の駅立ちは、新越谷駅東口で通常通り午前6時前から午前8時30分過ぎまで市政レポートの配布と市政報告を実施した。

午前7時前に馴染みの30台前半のサラリーマンの方から声が掛かり、カンパは何処にするのですか、と尋ねられた。はい、向こうにカンパ箱があるのでそこです、と返事をした。

手には小さな祝儀袋をもっておられたので、一緒に歩いて演台の上のカンパ箱まで行った。

駅立ち終了後自宅に帰りその祝儀袋を開いて見たら、何と3000円も入っていたため、少し驚いてしまった。毎月定期的に1回1000円のカンパを頂く市民もおられるのだが、一挙にこの額はあまりないからだ、しかも若い男性であることも。この日は午後7時から第18回ローカルマニフェスト連盟の総会に自宅からZoomで参加した。(裏へ続く)

私は、この会の監査を務めているので、2021年度の歳入、歳出の決算の監査を報告をした。数字上の監査は、公認会計士がすでに監査を終えており、私は運動の監査を重点に発言した。

その中で、来年の統一地方選挙に関して、前回の市議選から、市議候補者も選挙期間中(1週間)に法廷ビラを配布出来る様に公職選挙法が改正された。これまでは国政や首長の選挙では配布可能だった法廷ビラを市議候補でも配布出来るようになった。4000枚を限度に市民に配布出来るのだが、配布時間帯が午前8時から午後8時までで、しかも街宣車の位置から半径300m以内の範囲の配布となっている。

そのため、日常的に駅立ちを、午前6時前から実施をして、時には午後11時過ぎまで市政レポートを配布している私にとっては制限の多いものとなった。次回からこの制限を緩和する事を強調する報告となった。

(8月23日・月曜日)

## Spotifyは、もう少し間を詰めて 配信して下さい

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で午前5時20分からスタートして午前8時40分位まで実施した。

通常午前7時30分頃から、独協の中高生が電車から降りて来て、駅前は大混雑をするため、生徒を整列させて最寄りのバス停から学校までのバスに順次乗り込む様に指導する先生や係りの高齢男性が二人いるのだが、今日はいない。夏休みのためだ。そのため通勤客もスムーズにエスカレーターを登っていかれる。

午前7時30分頃馴染みの30台のサラリーマンの方が、市政レポートを受け取った後に、Spotifyの配信の間隔をもう少し短くしてもらえませんか、と話かけられた。そうですね1週間に一度だと1本20分位ものを5本も聞くことになるので大変ですね、と応答した。

確かに、ほぼ毎日配信しているTwitterの機能の一部であるスペースを1週間分位編集してSpotifyで配信しているので、Spotifyだけを聞いて頂いている市民には不便だろう。

はい、なんとかSpotifyとスペースの間隔が無くなる様に現在工夫しています、と付言した。

やはり、聞いて頂いている事を直に知ることが出来たので、すっかり嬉しくなってしまった朝となった。

(その後、改善をしてこの間隔はほぼ無くなっており、スペースの配信から遅れても2日後になっており、またYouTubeでも同じように配信している。)

(8月30日・火曜日)

## 小中学校の校舎長寿化計画は、机上の空論そのもの！

今日は、9月議会の7日目となっており、今日から21名の議員が一般質問を行う事になっているのだが、私は今回1番くじを引いたので午前10時から以下の2つのテーマで一般質問を市長や教育長に行った。

1、越谷市国土強靱地域計画について

2、越谷市公共施設等総合管理計画について

越谷市は、公共施設(241個)の39%を今後40年間かけて統廃合する計画を策定している。しかし、すでに開始年が始まっているにも拘わらず、具体的には1施設も着手していない。右肩上がりの時代の特定の地域や団体や業界の要望で作り続けて来た建物は、耐用年数の60年目をまぢかに迎えようとしているため、長寿命化計画を策定し、80年に延長する事しているのだが。

国が衰退し、町が縮退して行く時代には、成長感覚の対応では全く市民の合意形成が出来ない。総論賛成、各論反対が渦巻く事が予想されるため、なかなか個別の施設の廃止に手を付けられない現実がある。

また、公共施設の半分は小中学校であり、すでに令和3年度から5年間をかけて37校の小中学校の長寿命化計画を対象としているが一切着手していない。

教育長は、5年間で100億円を超える事業費に加え、体育館の空調事業に45億円、LED化に3億円を要するため財源を確保出来ないと答弁した。しかし今議会に提案されている小中一貫教育を推進する蒲生地区での三学園構想の新校舎建設の契約議案には、143億もの事業費と投入されている。

つまり、三学園構想が先行しているため、他の事業は計画だけが公表されて実効性はゼロという状態が明らかになった。

(この契約議案は、9月14日の子ども教育常任委員会で、自民党、公明党、刷新クラブ等の反対で否決されている。)

これはこれで大きな問題に発展しているが、重大な事態だ。

(9月7日・水曜日)